

# 課題の解消に向けては施策の充実と林業再生への取組が前提 森林労連として様々な運動に取り組む事を確認

## ～九州地方森林労連単産交流学習会～



林業労働者が更に安心して働けるために集まった交流学習会

2023年12月1日、九州森林労連会館において、九州地方森林労連単産交流学習会が行われ、直加盟民林労組代表、会社代表が参加しました。

冒頭、加藤九州森林労連執行委員長は、「近年、2050年カーボンニュートラルへの貢献として、木材利用の拡大、確実な再造林、温室効果ガス削減目標に関わる森林吸収源対策、環境税・譲与税の創設、花粉症対策など林業全体に関心が高まっており、追い風が吹いている部分もある。」

また、木材利用の多様化も進んでおり今後、林業に関わる川上から川下の一体感、民国の一体感が重要になる。しかし、川上の林業事業者の実態は、林業労働力の確保、林業技術者の確

保、人材育成といった点で課題があるが、林業労働者が安心して働き、豊かな暮らしができる、そして強靱な事業体を作る状況を実現するため、本日の学習会は年一回の取り組みであるが、充実させなければならない。抱えている課題の解消、労働条件改善に向けて林業施策の充実と林業再生に向けた取組が前提となるため、引き続き、森林労連として様々な運動を取り組みつつ、交渉と意見では何か一つでも得て今後の運動に反映させていきたい。」とあいさつ。

学習会では、九州森林管理局の大道森林整備部長より「九州森林管理局における最近の動き」と題して講演を受けました。講演では、①森林・林業基本計画の基本方針、②「新しい林業」の展開と実現、③再造林経費の削減、④立木価格の向上・生産・流通コストの低減、⑤九州局における再造林事業の現状、造林コスト削減に向けた取組、⑥九州各県における人工造林面積の推移、苗木生産の状況、林業従事者数の推移、⑦ドローンを活用した事業の効率化・軽労化の検討、⑧地上3Dレーザ(OWL)を用いた収穫調査省力化への試みなどについて講演を受け、意見交換を行いました。

その後、事業体経営者は、九州局・矢野局長との意見、民林労組代表者は、局関係部署との局交渉に入りました。矢野局長との意見は事業体経営者と局署との情報共有など多岐に亘り、有意義な意見交換が実施されました。局交渉では、①譲与税の活用についての県及び市町村への指

導、②下刈作業の早期発注と作業期間の拡大、コンテナ苗の作業効率の改善と安定的な苗木供給、立木販売箇所・枝葉整理、造林事業の作業効率化と従事者の負担軽減、下刈作業と他事業

の確立、公共建築物の木造化・木質化、CLTの利用拡大等による木材利用促進、⑥山村振興法の附帯決議に基づき雇用の拡大・改善を行う企業に対する支援措置、地域の事業者が優先的・安定的に受注できる発注方式の改善、⑦林業労働力の育成・確保に向けた施策の拡充及び予算の確保、林業労働者の労働条件の処遇改善、⑧外国人材の活用について、技能実習制度の廃止及び新たな制度創設が検討されている状況を踏まえ、検討を進めること、⑨条件不利地域等の公的森林整備の拡充を図ること、また森林の公益的機能等の着実な発揮に向け、事業の

の確立、公共建築物の木造化・木質化、CLTの利用拡大等による木材利用促進、⑥山村振興法の附帯決議に基づき雇用の拡大・改善を行う企業に対する支援措置、地域の事業者が優先的・安定的に受注できる発注方式の改善、⑦林業労働力の育成・確保に向けた施策の拡充及び予算の確保、林業労働者の労働条件の処遇改善、⑧外国人材の活用について、技能実習制度の廃止及び新たな制度創設が検討されている状況を踏まえ、検討を進めること、⑨条件不利地域等の公的森林整備の拡充を図ること、また森林の公益的機能等の着実な発揮に向け、事業の

の確立、公共建築物の木造化・木質化、CLTの利用拡大等による木材利用促進、⑥山村振興法の附帯決議に基づき雇用の拡大・改善を行う企業に対する支援措置、地域の事業者が優先的・安定的に受注できる発注方式の改善、⑦林業労働力の育成・確保に向けた施策の拡充及び予算の確保、林業労働者の労働条件の処遇改善、⑧外国人材の活用について、技能実習制度の廃止及び新たな制度創設が検討されている状況を踏まえ、検討を進めること、⑨条件不利地域等の公的森林整備の拡充を図ること、また森林の公益的機能等の着実な発揮に向け、事業の

### 「森林・林業基本計画」の推進に係る要請行動 九州全体で力を合わせて努力と元吉会長



必要予算の確保等、元吉会長に要請書

古村書記長、加藤執行委員長が参加し、冒頭、加藤委員長から元吉会長に要請書を手交しました。要請内容は、①森林・林業基本計画に基づく施策の具体化を図るための必要予算の確保と、間伐や再造林等に必要予算の確保、地球温暖化防止森林吸収源対策に係る予算の確保、森林整備をはじめとする森林分野での確実な再造林、公的補助の拡充、苗木の安定供給と鳥獣害対策、山元への適切な還元への仕組みを構築し、持続可能な林業経営を確立すること、⑤木材の安定供給の確立に向け、需給調整、販売をコーディネートする組織

徹底等、積極的な活用、③森林経営管理制度による市町村の森林整備を促進するため、林務担当者の育成を図る仕組みの確立、「森林経営管理法」森林環境税及び譲与税などの法律に係わる附帯決議の具体化、④主伐後の確実な再造林、公的補助の拡充、苗木の安定供給と鳥獣害対策、山元への適切な還元への仕組みを構築し、持続可能な林業経営を確立すること、⑤木材の安定供給の確立に向け、需給調整、販売をコーディネートする組織

の確立、公共建築物の木造化・木質化、CLTの利用拡大等による木材利用促進、⑥山村振興法の附帯決議に基づき雇用の拡大・改善を行う企業に対する支援措置、地域の事業者が優先的・安定的に受注できる発注方式の改善、⑦林業労働力の育成・確保に向けた施策の拡充及び予算の確保、林業労働者の労働条件の処遇改善、⑧外国人材の活用について、技能実習制度の廃止及び新たな制度創設が検討されている状況を踏まえ、検討を進めること、⑨条件不利地域等の公的森林整備の拡充を図ること、また森林の公益的機能等の着実な発揮に向け、事業の

の確立、公共建築物の木造化・木質化、CLTの利用拡大等による木材利用促進、⑥山村振興法の附帯決議に基づき雇用の拡大・改善を行う企業に対する支援措置、地域の事業者が優先的・安定的に受注できる発注方式の改善、⑦林業労働力の育成・確保に向けた施策の拡充及び予算の確保、林業労働者の労働条件の処遇改善、⑧外国人材の活用について、技能実習制度の廃止及び新たな制度創設が検討されている状況を踏まえ、検討を進めること、⑨条件不利地域等の公的森林整備の拡充を図ること、また森林の公益的機能等の着実な発揮に向け、事業の

の確立、公共建築物の木造化・木質化、CLTの利用拡大等による木材利用促進、⑥山村振興法の附帯決議に基づき雇用の拡大・改善を行う企業に対する支援措置、地域の事業者が優先的・安定的に受注できる発注方式の改善、⑦林業労働力の育成・確保に向けた施策の拡充及び予算の確保、林業労働者の労働条件の処遇改善、⑧外国人材の活用について、技能実習制度の廃止及び新たな制度創設が検討されている状況を踏まえ、検討を進めること、⑨条件不利地域等の公的森林整備の拡充を図ること、また森林の公益的機能等の着実な発揮に向け、事業の

の確立、公共建築物の木造化・木質化、CLTの利用拡大等による木材利用促進、⑥山村振興法の附帯決議に基づき雇用の拡大・改善を行う企業に対する支援措置、地域の事業者が優先的・安定的に受注できる発注方式の改善、⑦林業労働力の育成・確保に向けた施策の拡充及び予算の確保、林業労働者の労働条件の処遇改善、⑧外国人材の活用について、技能実習制度の廃止及び新たな制度創設が検討されている状況を踏まえ、検討を進めること、⑨条件不利地域等の公的森林整備の拡充を図ること、また森林の公益的機能等の着実な発揮に向け、事業の

の確立、公共建築物の木造化・木質化、CLTの利用拡大等による木材利用促進、⑥山村振興法の附帯決議に基づき雇用の拡大・改善を行う企業に対する支援措置、地域の事業者が優先的・安定的に受注できる発注方式の改善、⑦林業労働力の育成・確保に向けた施策の拡充及び予算の確保、林業労働者の労働条件の処遇改善、⑧外国人材の活用について、技能実習制度の廃止及び新たな制度創設が検討されている状況を踏まえ、検討を進めること、⑨条件不利地域等の公的森林整備の拡充を図ること、また森林の公益的機能等の着実な発揮に向け、事業の

の確立、公共建築物の木造化・木質化、CLTの利用拡大等による木材利用促進、⑥山村振興法の附帯決議に基づき雇用の拡大・改善を行う企業に対する支援措置、地域の事業者が優先的・安定的に受注できる発注方式の改善、⑦林業労働力の育成・確保に向けた施策の拡充及び予算の確保、林業労働者の労働条件の処遇改善、⑧外国人材の活用について、技能実習制度の廃止及び新たな制度創設が検討されている状況を踏まえ、検討を進めること、⑨条件不利地域等の公的森林整備の拡充を図ること、また森林の公益的機能等の着実な発揮に向け、事業の



山野飯沼林労組委員長(右)から大道森林整備部長へ要請書を手交

28日 旗納め  
19日 執行委員会  
21日 地本団体交渉  
22日 全国代表者会議(東京都23日)  
16日 第6回地本レク(阿蘇市17日)  
13日 執行委員会  
9日 西南三地本会議(大分市10日)  
6日 連合九州ブロック連絡会代表者会議(熊本市)  
4日 林活議連九州連絡会要請行動(大分市)  
2日 地本青女常任委員会(熊本市3日)  
12月1日 森林労連単産交流学習会(熊本市)

指導人と工程調査の検討、伐区設定のあり方、⑤林道の維持修繕における予算確保と荒廃箇所への舗装改良の検討、⑥計画的・安定的な事業量の確保と発注、雇用安定に繋がる対策、⑦入札申請事務の簡素化、地元事業者への配慮した入札制度、⑧労働安全対策の強化及び管内事業者を対象の安全対策会議の実施、請

最後の総括では、事業体経営者・労組代表者双方の意見・交渉の報告を行い、今後取り組むべき課題などを再確認し、全日程を終了しました。

長期的・安定的な実施に向けた人員や組織の拡充等の体制の確立、⑩樹木採取権制度について、国有林の管理経営に影響を生じさせないとともに地域の林業事業者の育成整備に繋がる制度とすること等、10項目を要請しました。



発行所  
熊本市西区京町本丁2の7  
全国林野労連労働組合九州地方本部  
電話 096-354-1150  
発行所 加来尚貴  
発行日 10日  
定価 1部20円  
組合員の購読料は組合費の中に含む

### 緑を育て、守る、 林野労組

### 当面の行動

## 匠の腕

「ソロキャン！」

(撮影者 津波佳樹：福岡分会)



「匠の一言」  
宇美町にある若杉山キャンプ場。愛車とともに過ごす休日は最高です！



いよいよ12月となり寒さも徐々に本格化し、すぐに年末、年明けを迎える事となる。年々1年が早く感じるのは私だけではないであろう。最近では視聴出来るものが増え、昔ほどではないと思うが、紅白歌合戦を見ながら年を越した人も多いのではないかと。最近の歌手にはあまり詳しくないが乃木坂46が活躍しているのはよく見ることがある。乃木坂46の歌で「サイレントマジョリティ」という歌がある。これは静かなる多数派という意味と書いてあった。選挙で選ばれた人でも多くから支持されている訳ではない。以前他国の大統領選挙でも、様々な意見があり当選しないと思われた候補者が当選した。数は力と言うが、その時々情勢を見極める力は今の時代とても重要な。

【歌詞：Yes? No? のか? サイレントマジョリティ】  
(SUKIE)

# 全国の新しい仲間が集結！

## 学習と交流を深め合う

### ～2023年度新採労働学校～

【兼城通信員・宮崎分会

11月17日～19日にかけて「2023年度新採労働学校」が東京都の林野会館ほかで開催されました。全国から84名の新入組合員が集い、九州地本からは18名が参加しました。参議院議員会館で行われた開校式では、開校挨拶として、中村中央本部執行委員長より「めったに会うことのできない全国の同期と交流を深め日々の生活の向上を図り、労働組合というものがあるりました。」

講義終了後は林野会館に移動し、全体交流会が行われました。参加者は地本の枠を超え、初めて会う全国の同期と積極的に交流している姿が印象的で楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

2日目には、林野会館にて講座及び分散会が行われました。立命館大学産業社会学部の富永京子准教授より、「社会と職場をより良くするために労働組合が必要！個人の「わがまま」をみんなの「いいこと」にするために」と題し、個人が抱える意見を「わがまま」というユニークな視点で捉え、小さなことでも声をあげていい社会をつくることの重要性についてのお話を聴きました。また、

その後、各グループに分かれて分散会を行い、全国の同期が仕事に対してどのような不満や悩みを抱えているか等意見交換を行いました。午後からは各地本ことの社会見学で思い思いの行きたい場所に向かい、短いながらも充実した時間を過ごしました。夜には九州地本の懇親会も行われ、組合員同士の親睦をさらに深めることができました。

最後に、閉校式の中で九州地本を代表し、宮崎南部分会の梅見弘太郎さんが「同期との交流を大切にしていこう」とともに、新採労働学校で学んだことを今後の生活に活かしていきたいです」との感想を述べ、団結ガンバローで閉校しました。青年女性委員会が掲げる「学習と交流」が存分に発揮された3日間の新採労働学校を終了しました。



九州より参加した18名の皆さん

林野事業を取り巻く状況について」と題し、林野労組のこれまでの歴史や職場の今を取り巻く情勢など、労働組合が果たしてきたものについて講義がありました。

その後、各グループに分かれて分散会を行い、全国の同期が仕事に対してどのような不満や悩みを抱えているか等意見交換を行いました。午後からは各地本ことの社会見学で思い思いの行きたい場所に向かい、短いながらも充実した時間を過ごしました。夜には九州地本の懇親会も行われ、組合員同士の親睦をさらに深めることができました。

最後に、閉校式の中で九州地本を代表し、宮崎南部分会の梅見弘太郎さんが「同期との交流を大切にしていこう」とともに、新採労働学校で学んだことを今後の生活に活かしていきたいです」との感想を述べ、団結ガンバローで閉校しました。青年女性委員会が掲げる「学習と交流」が存分に発揮された3日間の新採労働学校を終了しました。



「今後の生活に活かす！」宮崎南部分会梅見さん

# あの人とあの人

## 「熊本に現れた技能実習生」

平松 大志さん(局分会)



日々奮闘中の平松さん

今回、局分会からは保全課トリプルロシの一角を担う平松大志さんを紹介いたします。来年で採用20年目の節目を迎える平松さんは、プロ野球選手を輩出したこともある名門校野球部出身であり、FAによる局への移籍で局ソフト部の選手層の厚みが増し、レギュラー争いが激化して

今和5年4月に福岡署から局保全課へ赴任された平松さんは、管理の申し子として採用された実力者で、貸付業務に関する署への対応や数々の貸付関連の研修講師と大車輪の活躍を見せていると思えます。赴任して半年で新制度の国庫帰属森林を取り扱う新設ポストに大抜擢され、局内2ポスト目の管理官ということ

で職員の内目を一身に集めていると思えます。私生活では九州北部より単身赴任で来熊された平松さん(藤川通信員・局分会)は、自宅を暮らす家族のために技能を習得しながら稼いだ賃金を公営競技で増やそうと日々奮闘中であり、今年の夏は、ボートレース最高のグレードレースであるSG優勝戦で最高配当となったレースを見事的中させるなど、プライベートでも技能を習得しています。(高卒の初任給を上回るほどの額だったとか！)

現在、局分会の執行委員である平松さんは、前福岡分会では史上最年少で分会執行委員長を担っていたほどの逸材であり、最長5年の実習期間で習得した技術をどのように普及していくのか、乞うご期待です。

# マリ共和国へ思いを込めて

鹿児島分会

【下田通信員・鹿児島分会

秋の気配も近づく10月7日、始良市蒲生町において食とみどり、水を守る県民の会主催によるアジア・アフリカ支援米の稲刈りが開催され鹿児島分会からは、守屋、迫脇、諫山、和智、岩下、子供3名の8名で参加しました。冒頭主催者を代表し問屋室農林委員長が「6月に植えた苗は、台風や猪等の被害もな去年よりも立派に生長し沢山の稲穂を実らせることができました。今日は、ママシ等に十分注意して怪我の無いように作業をお願いします」との挨拶を受け参加者総勢30名は、稲刈りを開始しました。参加者は、稲を

刈る人、刈った稲を束ねる人、束ねた稲を竹竿にかけると、刈り取りから、掛け干しまで一時間半ほど心地よい汗を流していました。

田植えからの参加である諫山君は、「参加できなかったが、がみしゃん(西上)の分まで刈り取る！」と意気込んで作業を開始。のこ鎌を自在に使いこなし途中主催者に制止されるほどの勢いで一心不乱に稲を刈り取り、秋風が吹く曇り空の下一人半袖になり、汗だく泥まみれになるほど稲刈りに夢中になっていました。そのかいもあり作業後、今日一番頑張ったから！と主催者より余ったお弁当を頂き超



全国の仲間と記念撮影

国会見学の後は再び参議院議員会館に戻り、小沢雅仁参議院議員から、郵政民営化の頃、郵便局員だった当時の体験談も踏まえたい挨拶をいただきました。

# 森林・林業・林産業と山村地域の活性化に向けた取組強化を確認

令和5年度 森林・林業・林産業活性化九州大会



九州各地から1100名が集まった九州大会

2023年10月31日、熊本城ホールにて、令和5年度森林・林業・林産業活性化九州大会が開催され、九州各地から林業関係者、林活関連及び林業等関係者など約1100名が参加しました。

開会では、主催者を代表し、熊本県林活議連の池田会長が「九州は280万haの森林を持っている。森林環境譲与税や森林の適正管理を目的とする森林経営管理法も動き出し、林業改革が確実に実行されている。本年も各県の地方議員及び林業各関係者が一堂に会し、森林・林業・林産業の活性化と山村地域の振興を図るため、本大会が開催できることは大変意義深

い。」とあいさつ。来賓あいさつでは、林野庁長官 青山豊久氏(代理：齋藤健一 計画課長)、熊本県知事 蒲島郁夫氏(代理：木村敬副知事)があいさつをされました。基調講演では、武蔵野美術大学教授 若杉浩一氏が「森林と都市を結ぶデザイン、そして未来へ」をテーマに、地域社会とデザインとの未来を模索し、実践研究していることをユーモアを交えながら発表されました。その後、事例発表では、株式会社サークキュライフ代表取締役

川原剛氏が「木糸」による挑戦！地域資源を活用し、環境負荷の低減を実現する」と題して、木材の繊維を原料にした「木糸」を使用した、服や靴などを製品化した、「木糸」を活用することで、地域資源としての価値や林業の活性化にも貢献していることが発表されました。

続いて、熊本県林活議連幹事が大会決議を読み上げ、満場一致で採択されました。閉会あいさつでは、次回開催予定県である宮崎県林活議連会長の丸山裕次郎氏よりあいさつがあり、全日程を終了しました。

汗だくで一心不乱に刈り終わりました



汗だくで一心不乱に刈り終わりました